

経産省「地域未来牽引企業」

中部から新たに174社

ハナノキ、柏木工、赤福など

経済産業省は25日、今後地域経済の担い手候補として選定する「地域未来牽引企業」で、中部経済産業局管内5県から174社を追加選定した。東海3県からは米穀卸のハナノキ(北名古屋)、木製家具製造の柏木工(高山市)、菓子製造の赤福(伊勢市)など121社が選ばれた。選定企業は、地域未来投資促進法の支援策などが活用できるほか、経産局内に配置された「地域未来コンシェルジュ」が企業の相談にワンストップで対応する。共通のロゴマークを活用して認知度向上に役立てることもできる。

未来牽引企業の選定は、昨年に続き2回目。今回、東海3県で選定された121社の県別内訳は愛知61

社、岐阜32社、三重28社。

企業情報データベースに基づき付加価値創出などの定量的指標や、自治体、商工団体、金融機関などの推薦をもとに外部有識者委員会

の通り。

【愛知県】愛知ドビー、

青山製作所、アスカ、磯貝製作所、伊藤光学工業、ウオント、エムエス製作所、オティックス、カリッ、カンドリ工業、木下精密工業、久野金属工業、興和工業所、毎味水産、五洋ホールディングス、三光製作所、三秀プレシジョン、柴田工業、志水製作所、シヤチハタ、松鶴園、新日本ウエック、鈴木商館、スペースック、大栄産業、大成、中外陶園、中部シイアイシイ研究所、ツルタ製作所、勅使川原産業、T.M.W、東郷製作所、

の検討を踏まえて選定した。

前回選定した企業の中には、信頼度向上で人材確保につながった例もあるという。

トヨテック、ナカシャクリ

エイテブ、中日本興業、中日本精工、西島、日進工業、ニテック、日本ゼネラルフード、丹羽鉄工所、ハジメ産業、ハナノキ、半谷製作所、PDエアロスペース、フジクリン工業、富士特殊紙業、豊栄商会、本多電子、本多プラス、マキテック、丸上製作所、マルヤス工業、宮崎、宮崎精鋼、美和製作所、名光精機、安田塗装工業、山八歯材工業、柳風水野商店、レンテック大敵

エス・ピー、エヌピーシー、カーボンファイバーリサイクル工業、柏木工、岐阜多田精機、コラント、三甲、昭和コンクリート工業、新日本金属工業、関ヶ原石材、ダイキャスト東和産業、太平洋精工、太陽社電気、タニカ電器、トーカーフーズ、中島窯業、ナガセイニングレックス、日幸製菓、長谷虎紡績、飛騨産業、福寿工業、船坂酒造店、文溪堂、水生活製作所、ヤマガタヤ産業、山本製作所、ユニオン機工、渡辺酒造店

【三重県】赤福、朝明精工、石光工業、伊藤英男鉄工所、エッチ・エム・イー、尾崎畜産御浜ファーム、釜屋、カメヤマ、高洋電機、五光山彦、スエヒロEPM、扇港産業、東陽精機、豊臣機工、中村製作所、葉山電器製作所、平野組、廣瀬精工、ブランカ、松阪興産、丸亀産業、三重化学工業、三重機械鉄工、三重金属工業、三重精機、御木本製菓、森岡産業、ヨシザワ